

テーマ：北方領土（実践校）

十勝管内 鹿追町立笹川小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・北海道に対する誇りや愛着を育むため、北方領土の歴史やロシアとの交流について調べる活動を位置付けるとともに、元島民の語り部によるオンラインでの講話を通して、北方領土と北海道との関わりについて探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

昨年度、全校で視聴した映画「ジョバンニの島」を想起させ、北方領土に対する興味・関心を高め、「北方領土と北海道との関わりを調べよう」という学習課題を設定しました。

(2) 情報の収集

児童一人一人が「北方領土の歴史」「北海道との交流」などのテーマを設定し、社団法人北方領土復帰期成同盟発行の「北方領土ってどんなところ」などを活用して、調べ学習を行いました。また、元島民の語り部を講師として招聘し、北方領土での生活の様子や北方領土に対する思いなどに関する講話を聞き、課題解決に取り組みました。



【語り部による講話の様子】

(3) 整理・分析

調べ学習や講話などの情報から、「北方領土は、現在、ロシアに不法に占拠され、北方領土の返還要求運動が行われていること」「漁業水域に関わって、漁船が拿捕されていること」「北方領土の問題を解決するために『ビザなし交流』が行われていること」などについて理解し、北方領土と北海道との関わりについて考えました。



【学びを深める児童の様子】

(4) まとめ・表現

学習の成果として、「歴史」「交流」など、自らが設定したテーマに基づくレポートを作成し、発表会を行いました。発表会や振り返りなどから、児童は、北方領土の歴史や領土問題、ロシアとの交流などについて更に関心を高め、新たな疑問や課題等を見出していました。

②児童の感想等

- ・北方領土に帰りたいという元島民の方の言葉が心に残っています。北方領土の問題を解決するため、これからも関心をもって過ごしていきたいです。
- ・北方領土の問題を解決するためにビザなし交流などが行われており、ロシアの人々の思いなどを聞いてみたいと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 学習後のアンケート調査では、「北方領土の歴史に興味がある」と回答した児童の割合が80%を超え、探究的な学びのプロセスに元島民の講話を位置付けたことが効果的であったと考えます。また、社会科や道徳科などと関連を図ったことで、ふるさとへの誇りや愛着を高めることができました。
- 北方領土に関する学習の充実に向けて、各教科等との関連を明確にし、語り部や資料館等の活用を効果的に位置付けた指導計画の工夫・改善に取り組む必要があります。